

京
城
日
報

天
篇橋貫一

生田清三

雲動乾坤三祝壽春生
雨露九霞杯

復興景氣と商工業

[illegible]

新義州府尹 錦織足喜代

[illegible]

安東商業會議所會頭 金井佐次

[illegible]

大阪府警察部長

民衆黨と云ふことは近來
 引導されますが、對黨派は
 勢力行動であるから民衆黨
 といつても民衆に對黨派興ふ
 よう味ではない。ホーイス
 が交通總理をしたり自派離
 脱間をしたりすることは、
 對黨派の行儀に立入ること
 で非常な事ではないのであ
 る。罷免なきものが勢力行動
 することとは、堪忍を生ずるも

羽
海
書

國賊は賊も平水、水害も被害の
 程に於て其の差別をあれ。い
 づれも其の下せる 國賊、一概であ
 り。夫故の爲に、一地方の
 厄災の起るは、一國の災也。是故
 の自警と自戒の旨とは、一國の
 災は、一國の災也。是故の自警と
 自戒の旨とは、一國の災は、一
 國の災也。是故の自警と自戒の
 旨とは、一國の災は、一國の災
 也。是故の自警と自戒の旨とは、
 一國の災は、一國の災也。是故
 の自警と自戒の旨とは、一國の
 災は、一國の災也。是故の自警
 と自戒の旨とは、一國の災は、
 一國の災也。是故の自警と自戒
 の旨とは、一國の災は、一國の
 災也。是故の自警と自戒の旨と
 は、一國の災は、一國の災也。

原料栽培には山間を利用できる

[illegible]

平壤府尹宮館貞

[illegible]


安藤京鐵局長試筆

長試筆

長試筆

新

伊藤茂雄	錦織多喜代	北方捨吉	棚山嘉六	岡本茂	加藤鍊治郎	川村猪佐夫	橫江重助	田中健士	多田榮吉	長澤紀代司	中村三之助	中村勉三	永井寬龍	中込精一	增田光平	古川優	荒木要次郎	青木咲吉	足立秋生	阿部國造	秋尾清見	笹淵卯平	齋藤清治	鬼頭虎藏	三宅富次	宮川肇	志水高次郎	神宮興太郎	神保信吉	毛利好彦	吉田雅一	松本重壽	小畑豐次郎
------	-------	------	------	-----	-------	-------	------	------	------	-------	-------	------	------	------	------	-----	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	-------	-------	------	------	------	------	-------

<p>北村號靴店</p> <p>京坂本通り四丁目一 電話本局二四七番</p>		<p>慶北軍威公立普通學校</p> <p>校長 岩三郎 教員 木村春造、李泰澤、金喜根、權泰根、同同同同同同同同</p>		<p>備前屋</p> <p>京坂長谷川町一 電話本局一五四七番</p>		<p>印刷大海堂</p> <p>京坂本通り三丁目 電話本局三七六番</p>		<p>關西北道</p> <p>盈德金融組合 組長 洪永均 理事 山本信吉</p>		<p>關西北道</p> <p>盈德郡廳 職員一同</p>		<p>關西北道</p> <p>安重郡守 李胤榮 近衛主計 川越省三 財政主任 國府田儀重郎 久保和七</p>											
<p>仁川敷島遊廓組合</p> <p>朝鮮仁川港海唇町三丁目番地 米雄政 委託購買 城野德藏商店 電話本局六五二番</p>		<p>深堀清吉商店</p> <p>電話二七四〇番 電話又フカ</p>		 <p>朝日醸造株式會社</p> <p>仁川龍崎町 電話四五番</p>		<p>仁川稅關食堂員一同</p>		<p>大橋恒藏</p> <p>平壤府時町 多價話一三八番</p>		<p>水谷組出張所</p> <p>平壤府南利 京坡府南利 電話先向三六四番</p>		<p>信川溫泉ホテル</p> <p>西鮮唯一の樂土...温泉療養 開業以來...觀光勝地 平壤府南利 電話本局二五七番</p>		<p>警察署員一同</p> <p>平安南道中和郡</p>		<p>中和郡畜産組合</p> <p>平安南道</p>		<p>花月食堂</p> <p>京城東區金町二日本生命ビルヂング内 電話本局二五七番</p>		<p>元山官公立各學校職員一同</p> <p>元山官立第一高等學校 支店 元山本町一三丁目 電話本局一三三番</p>		<p>月本政次郎商店</p> <p>京城東區小間物 有名人化粧品 電話本局二八二番</p>	

水原勸業模範場

失業時季中は移民入國の中止
永久移住の意志無き外國學生及び海員の入國許可及登録
移民法を擴張し加緊陀羅西哥及南米にも及ぼす



東宮御用掛 二荒伯爵謹話

なり、それから三時頃までに
務を御覽せられる御傍、
等を遊ばされ

御政
聖覽

は御
ルフ

李王世平殿下一行の御留職で府
各殿は全路引替つて不眠不休

お正月

四日に屠蘇を祝ふ

十四戶燒矢

四日午前五時半佐原村に於て中野忠藏、勝沼本、飯沼三郎より、湯火、盗竊、溺死、
 墮橋の凶跡あり。標方清原、飯沼したる一、勝沼八、飯沼十、勝沼一
 人、支那人一戸を惣失し、勝沼三、勝沼六したる其妻、細四、飯沼四、下野
 職十郎であるが、火災の原由、勝沼三、勝沼六に附連し、飯沼三、飯沼
 六の大層高橋より又、勝沼三、勝沼六に附連し、花柳の娼女に非
 ざるなる形跡を呈した。大具特電。

市を慕ひまつりて

[illegible]

安東縣の邦人宅に闖入

約百圓強奪して逃

歴しく男老歴

在城官民

八日龍山練兵塲で學

八日午時十一時から開山鯉魚
 船行せられ在船歩数七八、七
 百餘二八八、野郎船二六六、
 二〇の各船艦及御船歩数艦船

[illegible]

は他人の寄役に服してゐることを得母に孝養を盡し母を見るを無上の樂とせり母の餘年終始一日の如く至て母に奉仕して渝ること三年

鄭昌

常七十
資性溫良品行方正にして孝心
く嘗て兩親の命に違ひたるこ
なし十一歳の時母病氣危篤に
するや牀床を離れず晝夜手を
して看護すること一年一時快
を見たるも翌年遂に死去せり

大邱と南浦

時より道橋橋内に於て、
常永照察部長、藤村大郎署長の
示ありて後、新年宴會を開き、
式を終つた（大郎特電）
又、薩摩海防組にては、
一月四日出発式を挙行し終つて

九時から仁川警察署前並
て舉行された之より先常備

防隊及び義勇消防組全部は午前
時仁川神社に集會し参拜の後海
を試み同四十分終了同九時既戦
開始し加藤善忠の指揮に依り團
に入り中島府尹の訓示ありて

行ひ来る六日府内聯合會

京城中の觀聽を行つた

京城出初式

六日朝九時から

五日頃より二日間に亘り主

陸軍化學研究所

研究して居るのみであるか

大盛況の
いよく五

取らぬ
一、
無

然も流鏑された源中振りに
 は勿論大人までが吾を忘れて
 来、中には餘りのいぢらしさに
 涙の涙を流して居る人もある
 この少女隊は、能くけふでお終
 であるから何方も是非お見落し

[illegible]

通俗太閤記

松林伯知講演
加藤由太郎記

三百四十一回

松林伯知講演「通俗太閤記」の第三十四十一回は、豊臣秀吉の死後、徳川家康が天下を統一するまでの物語を描く。この回では、家康が豊臣氏を倒すための計略を練る様子や、豊臣氏の内紛が描かれる。物語は、家康の智略と豊臣氏の愚行が対比され、徳川家の勝利が示唆されている。



この物語は、徳川家康の雄略と豊臣氏の内紛が描かれる。家康は、豊臣氏を倒すための計略を練り、最終的に豊臣氏を倒すことに成功する。この回では、家康の智略と豊臣氏の愚行が対比され、徳川家の勝利が示唆されている。

新年賀謹

中原文太郎	池田早之進	朴昌植	廣成煙公司	宋光順	奉天出張所	松茂洋行	吉川康	上木仁三郎	二葉屋文具店	釜山支店	釜山製餅所	高城貞雄
鐵原印刷所	鐵原自動車商會	鐵原郵便局	水出梅平	池田義種	俱樂部員一同	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所

金子病院	大正製藥株式會社	朝鮮製藥株式會社	平安道會	食堂會員一同	仁川酒造組合	仁川米穀部	廣澤米穀部	廣澤米穀部	廣澤米穀部	廣澤米穀部	廣澤米穀部	廣澤米穀部
鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所

鳳城炭坑株式會社	本溪湖煤鐵有限公司	慶北道廳	慶北道廳	慶北道廳	慶北道廳	慶北道廳	慶北道廳	慶北道廳	慶北道廳	慶北道廳	慶北道廳	慶北道廳
鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所

仁川米穀部	廣澤米穀部	廣澤米穀部	廣澤米穀部	廣澤米穀部	廣澤米穀部	廣澤米穀部	廣澤米穀部	廣澤米穀部	廣澤米穀部	廣澤米穀部	廣澤米穀部	廣澤米穀部
鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所

仁川米穀部	廣澤米穀部	廣澤米穀部	廣澤米穀部	廣澤米穀部	廣澤米穀部	廣澤米穀部	廣澤米穀部	廣澤米穀部	廣澤米穀部	廣澤米穀部	廣澤米穀部	廣澤米穀部
鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所	鐵原印刷所